

学校教育目標

自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成

実践の手だて

- 1 言語活動の充実 2 共生的な態度
- 3 教師の協働 4 小中をつなぐ
- 5 人を生かし、人を育てる

1. 各評価の観点について実践を振り返り、評価欄の数字に○をつける。
 - 4: 十分重点として認識し、達成に向けた努力をした
 - 3: 重点目標として認識し、実践した。
 - 2: 重点としての意識は低く、個別的な努力をした。
 - 1: ほとんど認識がなかった。
2. 各項目の「自己評価・提案」の欄には領域に対する自己評価、学校教育を向上させるための提案を書いてください

今年度・
※努力目標

- ① 年間指導計画の実践と記録、修正
- ② 言語活動の強化、学力向上
- ③ 地域を視野に入れた教育

望む生徒像	・よりよい生活を作り出す方法を考え、その方法を身につけることができる生徒 ・共生的な態度で、温かい人間関係が作れる生徒 ・忍耐強さとたくましい体力を持つ生徒
望む教師像	・内省的思考力を持つ、信頼される教師 ・コーチングスキルを持ち、他とコミュニケーションがとれる教師 ・目標、目的を持ち、協働できる教師
望む学校像	・笑顔と夢と活気ある美しい学校 ・礼儀正しく秩序のある学校 ・地域社会とつながる学校

手だて	年間・特別取り組み	NO	(自己評価・教職員用) 評価の観点	評価				1学期達成率	2学期達成率
				できて いる	で大体 ている	いあまり ない 出来て	出来 て ない		
言語活動の充実・共生的な態度・職員の協働・小中をつなぐ・人を生かし・人を育てる(職員・生徒)	1 学力向上のための校内研究の推進と授業改善	1	1時間の授業の形態、活動方法の工夫(話し合い活動や討議、発表)をおこなった。	5	13	2	0	79.2%	90.0%
		2	公開授業には目標にそった授業改善に向け、授業方法や内容の工夫をした。	6	14	0	0	80.8%	100.0%
		3	1時間の授業の中で、「深める」活動(思考をする)を取り入れている。	4	11	5	0	80.6%	75.0%
		4	1時間の授業成立のため、単元計画全体の工夫を図った。	3	15	1	1	76.4%	90.0%
		5	同一教科による学年間をつないだ言語活動強化の見直しを行った。	2	11	6	1	66.7%	65.0%
		6	読書・読書活動の推進をした。	2	5	10	3	70.8%	35.0%
	改善策・長所伸長策等	①	1.2については、必要に応じて行っている。今後もそのようにやっていく。						
		②	3.4 単元のまとめについて、グループでこのまま理解の深化を図る。						
		③	見直しは特にせず、昨年通りに言語活動を実践した。なるべく生徒同士(グループ)の話し合いを行わせている。						
		④	学年を越えての連絡をもっととり、言語活動を推進すべきだった。						
		⑤	生徒からの質問には、なるべく「どうして〜だと思う?」と考えさせ、答えに導くようにしようと思っている。						
	⑥	授業については、グループで取り組む時間を、1時間の中でできるだけ作るよう心がけた。							
	⑦	新しい教科書で、どのように思考する場面を作るか、工夫が必要である。							
	⑧	単元計画は、教科書が替わり、工夫しながら行う必要があり、模索中である。授業方法は、更に支援が必要な子への対応を考えていきたいと思う。							
	⑨	授業計画を、単元目標、それぞれの時間の目標にそって時間をかけて行い、目標に合った活動を毎時間組み込む。話し合いや討議ができるよう、下準備の学習をする。							
	⑩	レポートについての考察を、学年の段階に合わせて文章で書かせる。(ヒントの出し方の工夫)							
	⑪	教科部会や職員室での会話はほとんどなく、時々進め方を確認する程度だったので、会話を増やす。							

年間・特別取り組み	NO	(自己評価・教職員用) 評価の観点	評価				1学期達成率	2学期達成率
			できて いる	で大体 ている	いあまり ない出来 て	出来 ていない		
2 特別活動・道徳	7	特別活動(学校行事、生徒会、学級会、学級活動)での話し合い活動を進めた。	2	16	2	0	78.1%	90.0%
	8	課題発見、解決型総合学習を進めた。	6	12	2	0	79.4%	90.0%
	9	一人一人のよさを認め、人間関係形成のできる生徒指導を進めた。	4	14	2	0	77.8%	90.0%
	10	ボランティア活動等の地域貢献により自己肯定感の高まる活動を推進した。	2	7	8	3	61.8%	45.0%
	11	生徒活動を基盤とした地域貢献活動を推進した。	1	12	4	3	61.8%	65.0%
	12	一人一人が所属感・存在感をもてるような学級経営の工夫により、生徒が充実した生活を送っている。	4	14	2	0	76.5%	90.0%
	13	学級活動等の活性化により、生徒の主体性の育成を目指した。	2	14	3	1	75.0%	80.0%
	14	教育活動全体を通して、生徒の豊かな心を育む努力をした。	5	14	1	0	83.8%	95.0%
	15	道徳で培った道徳的判断力を、生活や他の教科の中で生かそうとした。	1	16	3	0	73.5%	85.0%
	改善策・長所伸長策等	① 担任と連携を図っていきたい。						
		② 課題を発見し、解決していくことができるよう支援した。しかし、なかなか一人ひとりを伸ばすことができなかった。						
		③ 他者を理解し、歩み寄ることを意識させ続けた。						
		④ 一人一人の長所を、なるべく褒めるようにし、話しや相談を聞いてあげられるようにしている。						
		⑤ 生徒への声かけ、個別指導を多く持ちたい。						
		⑥ 個に対する対応も、集団を生かした対応を工夫する。						
⑦ 一人一人の良さを見つける、一人一人の良さを表現する・・・ということを学期の初めからずっと話し続けている。何かあればすぐ対応すること、他の先生方と密に連絡をとり、多方面から生徒の指導にあたるようにしているが・・・まだまだクラスはまとまりません。								
⑧ グループ活動において、生徒に見通しを立たせ、役割を班の中で作る。								
⑨ 11.1学期は部活が中心、1学期以降、クラスの議決によって活動を生み出す予定。								
⑩ ボランティアなどの機会も多く、生徒たちは作文や面接などでも、その経験を語れている。								
⑪ ボランティア活動について 本校では総合的な学習の内容が、カリキュラムで決まっているので、総合的な学習ではなかなか取り組めない。となると、他の場合で行うにはどうしても限界があると思う。								
⑫ 道徳の実践について、副読本だけでなく、タイムリーな事柄(行事や時事ニュースなど)に関する資料の提供があると、もっとよいと思います。								
3 生徒指導・教育相談・長欠対策	NO	(自己評価・教職員用) 評価の観点	できて いる	で大体 ている	いあまり ない出来 て	出来 ていない	1学期達成率	2学期達成率
	16	問題行動等が発生した場合、職員相互がチームにより対応し、管理職への報告・相談等を行いながら、早期解決に努めた。	11	8	1	0	93.8%	95.0%
	17	生徒に自律的な規範意識を育てよう、学年、学級、分掌等での活動推進に努めた。	3	15	2	0	82.5%	90.0%
	18	特に課題を抱えた生徒に関する情報は、学校職員の共有すべき情報として伝える、相談するなどの「つなぎ機能」をよく果たした。	5	13	2	0	87.5%	90.0%
	19	長欠・教育相談に関する指導は、必要に応じ、他校種、外部機関と連携するなどチームワークで対応しようとしてきた。	5	13	2	0	76.3%	90.0%
	20	生徒が自ら考え、自主的・自律的に行動でき、みずからの言動に責任を負うことのできる生徒を育成するための指導を行ってきた。	3	14	3	0	80.3%	85.0%
	21	社会の一員としての意識(公平・公正・勤労・モラル等)を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	2	17	1	0	77.6%	95.0%
	22	保護者と連携して、粘り強く生活習慣を身につけた生徒を育成するための指導を行ってきた。	4	10	6	0	78.9%	70.0%
3 生徒	① チームで対応する「つなぎ機能」は、年々良くなっている感じている。							
	② このまま進めていく。							
	③ 生徒指導は満足がいくものではなかった。							
	④ 報告、連絡、相談を怠らないよう努力した。							

徒指導・教育相談・長欠対策

改善策・長所伸長策等	⑤ どうしても教師サイドからの指示が多かったと思う。手間はかかるが、なるべく子どもたちからの活動にさせるともっと自主、自立的に行動できるようになると思う。
	⑤ 目に余る問題行動があった際は、学年の先生などにもすぐ相談するようにした。これからも他の先生方と連携していきたいと思う。
	⑥ 生徒指導的には、今まで以上に指導を積み重ねてきたが、なかなか難しい部分がある。
	⑦ どの項目もしっかりやろうと心掛けている。毎日、朝、帰りの会、普段の話、放課後の会話など、小さな学校なので、いつでも、どんな時でも話し、考えさせることができる機会が多いので、これからもどんどんやっていきたい。
	⑧ 生徒の変化に気づけるよう、休み時間、授業外の時間に生徒と接し、気づいたことを担任や管理職へ報告、相談する。部活動などを機会とし、自ら学びとる、考える力、モラルについて考える機会を多く作る。
	⑨ 22.自立期の中学生を持つ保護者への啓発、教化活動としての保護者会実施。
⑩ まだまだ課題が多いが、考えて改善に努めたい。	

4 健康管理・安全管理

NO	(自己評価・教職員用) 評価の観点	評価				1学期 達成率	2学期 達成率
		でよ くて い る	で大 体 い る	てあ ま り 出 来 て い な い	い出 来 て い な い		
23	生徒に体力・健康の自己管理ができるよう、治療のすすめ、生活習慣などの指導を行った。	4	15	1	0	78.9%	95.0%
24	災害、危険防止の観点から危険予知能力育成、安全管理など適切に行った。	4	16	0	0	80.3%	100.0%
25	学校保健計画・学校安全計画を確認し、計画的の指導を行った。	1	16	3	0	73.7%	85.0%
26	PTA活動の内容を理解し、積極的に取り組んだ。	0	12	6	2	71.1%	60.0%
改善策・長所伸長策等	① 26については、保護者（PTA）と何度も連携し、広報の作成に協力した。						
	② この分野での指導は、満足のいくものではなかった。						
	③ 自らも体力づくりに努め、気づいたところは改善する。						
	④ 保健・安全の指導は「保健だより」等を使って指導を続けている。PTA活動はあまりできていないので、出来る範囲で行いたい。						
	⑤ 保健やPTAについて、進んで情報を得、積極的に行動したい。保健、危険防止について知識をつけたい。						
	⑥ 25.自転車安全教室未実施が問題、交通安全指導の欠如。						
	⑦ 1学期の避難訓練の設定がとてもよく、気づきが多かったので、効果的だったと感じる。						
	⑧ PTA活動まで手が回りません。申し訳ありません。						
	⑨ PTA活動が分からず、協力のしようがない。保護者啓発活動を根本から見直す必要あり。						

5 特別支援教育

NO	(自己評価・教職員用) 評価の観点	評価				1学期 達成率	2学期 達成率
		でよ くて い る	で大 体 い る	てあ ま り 出 来 て い な い	い出 来 て い な い		
27	自分は特別な支援を必要とする生徒に対して、授業の中で配慮を行った。	5	13	2	0	85.5%	90.0%
28	特別支援教育のための校内委員会が機能し始め、個別の支援が進んだ。	6	14	0	0	86.8%	100.0%
29	特別な支援を必要とする生徒について個別指導計画や個別の教育支援計画が適切に作成された。	4	14	2	0	69.7%	90.0%
30	特別な支援を必要とする生徒について医療、福祉（児相など）関係機関との連携が図られた。	1	15	4	0	65.3%	80.0%
31	特別支援学級の生徒との交流学习を進んで図った。						

5 特別支援教育

改善策・長所伸長策等	① 授業内で支援ができた。ただし、取り出しの必要を強く感じる。
	② もっと積極的に進めなければならない。
	③ 時間がある時は、相談室登校の生徒と話しをしたり、教室へ一緒にいく努力をしている。
	④ 支援については、大変よくやっていたらと思う。
	⑤ さらに研修に努めたい。
	⑥ 支援計画は、これから研修を受けて作りたい。
	⑦ 29.適切化を図る必要がある。
	⑧ 授業内での机間指導で支援する。時間がかかり、全体に影響もあったので、支援の教員と連携をさらに図りたい。補助プリントなどを取り入れるなどの工夫をしたい。

		寺						
		⑨ 特別支援の会議をもう少し回数を増やし、情報交換したい。						
		⑩ 小玉T 矢作Tを中心に、計画を進めてくれてとても助かった。生徒の様子も変わってきた。						
6 研	NO	評価				1学期達成率	2学期達成率	
	(内部評価・教職員用) 評価の観点	できて いる	で大体 ている	いあまり ない出来 て	出来 てい ない			
	32	学年・教科を越え、相互授業参観を活用するなど、教員としての力量形成のための研修を進めた。	7	11	2	0	78.9%	90.0%
	33	初任者、若手教員、栄養職員、養護教諭等の校内職員の研修に、積極的にに関わり、人材育成に寄与した。	7	10	2	1	77.8%	85.0%
	34	コーチングスキルを積極的に用い、生徒に自己決定させる場面を多くとった。	3	14	3	0	73.7%	85.0%
	35	ファシリテートに努力し、授業の中でワークショップ等の形態をとり、言語活動充実のための取り組みを工夫した。	4	12	4	0	72.4%	80.0%
	36	郷土の偉人や業績、地域の歴史を自ら学び、小中連携に積極的に携わった。	9	5	5	1	58.8%	70.0%
修	改善策・長所伸長策等	① ファシリテートは前任校から意識して行っていたが、授業研を様々な先生に見ていただいて、なかなか進歩が見られなかったのが残念だった。研修を積み重ね、努力していきたい。						
		② ファシリテーターとして、なるべく生徒にかかわっていくよう努力した。36に関しては、ほとんど参加していない。						
		③ 更に研修に努めたい。						
		④ 評価1. 2ばかりで、さらに努力したい。						
		⑤ 授業参観が十分に行えなかった。あらかじめ計画を立て、参観させていただきたいと思う。生徒に対し、傾聴の姿勢をとる。生徒から答えを引き出すよう、根気強く取り組みたい。						
		⑥ 32.は1学期に本格実施。						
		⑦ 他の先生の研修に関わる時間がありません。自分のこともいっぱいばいばいでした。						
		⑧ 校内研修を中心にみんなで取り組んでいる。						
		⑨ 相互授業参観と、校内研修の研究協議会など、研修の機会に恵まれている。						
7 組織・学校情報の広報	NO	評価				1学期達成率	2学期達成率	
	(内部評価・教職員用) 評価の観点	できて いる	で大体 ている	いあまり ない出来 て	出来 てい ない			
	37	学校教育目標の具現化に向けて、保護者・地域と連携を図り、教育活動の理解や参画を得るように努めてきた。	4	12	4	0	78.9%	80.0%
	38	組織の円滑な運営のために、学年を越えて声を掛け合うなど、「つなぐ」意思疎通を図った。	7	13	0	0	86.8%	100.0%
	39	学年や学級の課題を明らかにし、改善するための工夫を行った。	5	14	1	0	82.9%	95.0%
	40	市予算の財務は、学校教育目標具現化に向けて適正執行できている。	9	11	0	0	84.7%	100.0%
41	HP・学校便り・学年だより・保健、給食だよりなど学校広報が進んだ。	8	10	2	0	88.2%	90.0%	
7 組織・学校情報の広報	改善策・長所伸長策等	① 今後も連携を図り、問題解決に努めたい。						
		② 課題解決や「つなぐ」ことがなかなかできなかった。						
		③ 5月からの学級の問題に対し、毎日対策を考えているが、なかなか効果が上がらない。						
		④ 更に研修に努めたい。						
		⑤ 41.HPは低調(専門に担当する部署が必要)						
		⑥ 学級通信や保護者会、欠席者への電話、家庭訪問など、現状を向上させるために伝える努力をさらにしていきたい。						
		⑦ 自ら情報を得て、状況を把握したい。						
		⑧ 学校広報の組織化が必要、学校だよりに誤字、脱字を出したくない。						